




CH 構成を変えずに特定の CH だけ演算したファイルを作る

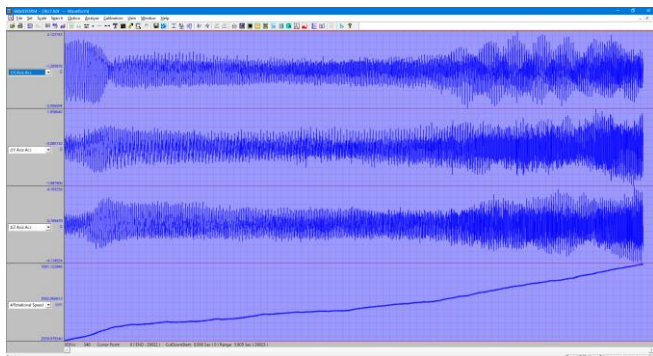
概要

本アプリケーションノートは、PcWaveForm のチャンネル間演算 window (Analyze→Calc) で元ファイルに対し、特定の CH だけ演算を行ったファイルを作成する方法について記述しています。

操作手順

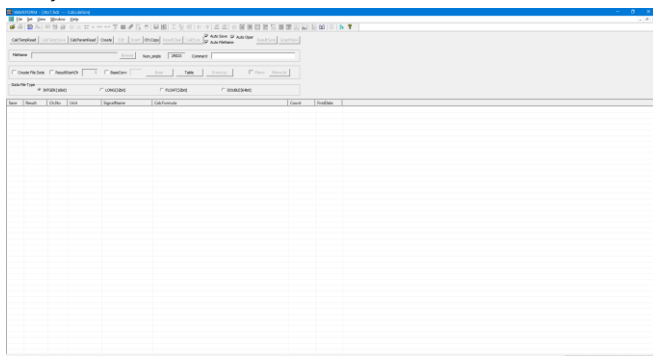
① 元となるファイルを開き全体を選択します

 アイコンでデータ全体を表示、 アイコンで縦軸を全体表示、 アイコンで選択できます。



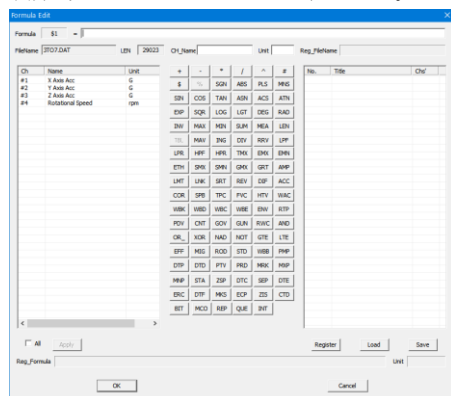
② チャンネル間演算機能を起動

Analyze→Calc でチャンネル間演算 window を開きます。

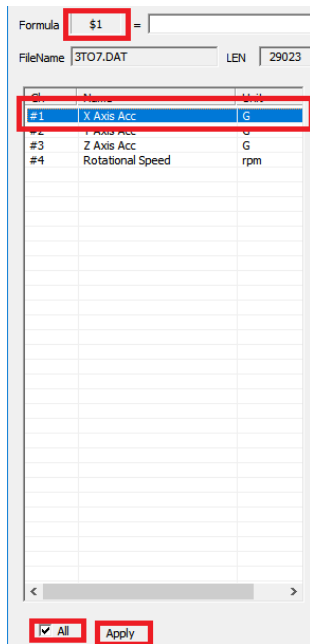


③ Create ボタンを選択し、CH を登録します。

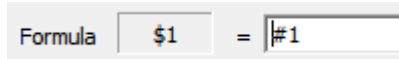
演算式を入力するダイアログが開きます。



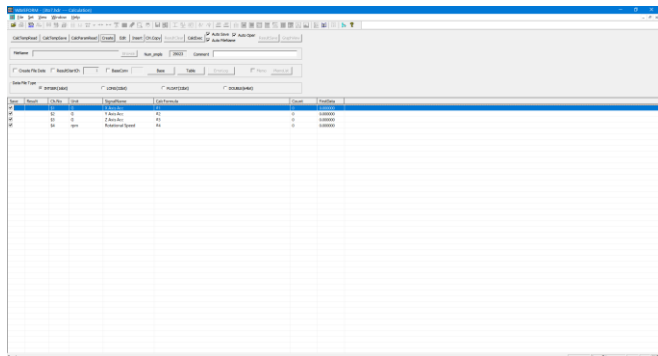
\$1 = が表示されている状態で、#1 を選択し、All にチェックを入れ Apply ボタンを選択します。



\$1 に#1 が入力されます。

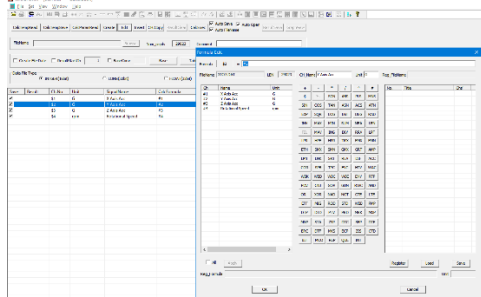


OK ボタンを選択するとすべてのチャンネルが入力された状態となります。

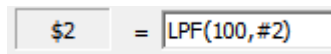


④任意のチャンネルに演算を記述する

演算を追加したいCHを選択し、Editボタンを実行またはCH欄で左ダブルクリックすることで演算式を入力するダイアログが開きます。



演算式を入力し、OK ボタンを選択します。



DEICY

演算が登録されます。

<input checked="" type="checkbox"/>		\$1	G	X Axis Acc	#1
<input checked="" type="checkbox"/>		\$2	G	Y Axis Acc	LPF(100,#2)
<input checked="" type="checkbox"/>		\$3	G	Z Axis Acc	#3
<input checked="" type="checkbox"/>		\$4	rpm	Rotational Speed	#4

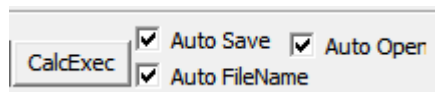
すべての演算を入力後、CalcExec ボタンで演算を実行します。

CalcExec ボタンの右にあるチェックは其々下記の機能となります。

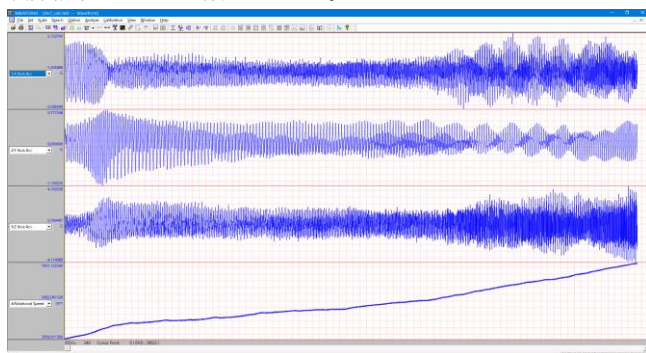
Auto Save : 演算後、演算結果ファイルを保存します。

Auto FileName : 演算結果のファイル名を自動決定します。「元ファイル名」+「_calc」となります。

Auto Open : 演算後、演算結果ファイルを自動で開きます。



演算結果ファイルが作成されます。

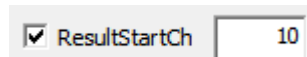


⑤CH 番号が連番ではない / CH 番号が 1 から開始していない場合

①～④の手順で作成した場合、CH 番号は 1 からの連番となります。元ファイルの CH 番号が連続していない場合やチャンネル番号が 1 から始まっていない場合は ResultStartCh 機能を使用します。

連番ではない CH 番号の指定

任意の CH 番号とする場合、ResultStartCh にチェックを入れて設定したい CH 番号を設定します。



ここで入力した CH 番号を Create ボタンで開く演算式入力ダイアログで選択し、Apply ボタンで登録します(All はチェックしない)。

例えば CH13,15,17 のファイルだった場合、下記のように操作します。

- 1 ResultStartCh を 13 として、Create で#13 を Apply
- 2 ResultStartCh を 15 として、Create で#15 を Apply
- 3 ResultStartCh を 17 として、Create で#17 を Apply

CH 番号が 1 以外からの連番の場合

CH 番号が 1 からではなく、例えば 10 からの連番だった場合、ResultStartCh を 10 とし、Create で#10 を選んだ状態で All をチェックして Apply することで、10 からの連番で登録できます。

改定履歴

2020/1/28 Ver.1.00 初版